

2030年の国スポ、障スポへ

始動。



今から9年後の令和12年(2030年)、「国民スポーツ大会(現、国民体育大会)」、「全国障害者スポーツ大会」が島根県で開催されます。昨年10月、準備委員会を設立し、大会の成功に向け本格的な取組がスタートしました。

国民スポーツ大会(国スポ)は昭和21年(1946年)から、全国障害者スポーツ大会(障スポ)は、昭和40年(1965年)から行われてきた「全国身体障害者スポーツ大会」と平成4年(1992年)から行われてきた「全国知的障害者スポーツ大会」を統合した大会として平成13年(2001年)から、天皇皇后両陛下をはじめ皇室の方々をお迎えし、都道府県持ち回りで毎年開催されています。国スポの正式競技は本大会と冬季大会を合わせて40競技が実施され、競技ごとに獲得した得点の合計を競う都道府県対抗形式により、天皇杯(男女総合優勝)と皇后杯(女子総合優勝)を巡る熱戦が繰り広げられます。障スポは障がいのある方がスポーツ競技を通じ、障がい者の社会参加の推進を図るとともに、国民の障がいに対する理解を深めることを目的とした大会です。 ❀ 島根県